

全日本合唱コンクール全国大会に出場し、銅賞受賞！



演奏後、会場前での集合写真

富士通川崎合唱団は、11月21日（日）に兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール（西宮市）にて開催されました「第63回 全日本合唱コンクール 全国大会（職場部門）」に出場いたしました。

【当日の様子】

前日に神戸入りした私たちは当日早朝、練習の会場であるホテルオークラ神戸に向かいました。練習場はホテル内のチャペルです。とても音の響きが良く、天候に恵まれたこともあり朝の光がステンドグラス越しに程良く入る、心地よい雰囲気の中で2時間ほど練習を行いました。その後、晴れ晴れした気分のうちに兵庫県立芸術文化センターのある西宮市へ移動しました。



当日の朝、チャペルでの練習風景



誘導担当者よりご挨拶 ～終了までお世話になります。

兵庫県立芸術文化センター横の公園に再集合した私たちは、全国大会の空気を大きく感じ、高まる緊張感を抑えながらウォームアップを行って会場入りしました。演奏順が職場部門 11 団体中 9 番目のため、既に演奏を終了した団体を横目に見ながら予定時刻通りロビーに集合します。それから更衣、2 回のリハーサルを経てステージ袖にて待機となります。緊張感も最高潮に達していました。待機中に 2 団体の演奏を聴くことができましたが、どの団体も各支部大会を勝ち抜いてきた実力派のためとても素晴らしい演奏で、私たちも負けられないと気持ちが引き締まります。

そしてついに、今日この時のために春から練習を重ねてきた成果の披露となりました。

ほぼ満席の客席からの拍手に迎えられステージへ入場。拍手が終わり静寂のなか課題曲 Ne timeas, Maria (マリアよ 畏れるな) を、続いて自由曲 Miserere mei (あわれみたまえ) と Ubi Caritas (愛と慈しみのあるところ) を演奏しました。

大きなミスもなく 3 曲の演奏が終了し指揮者の手が下りた瞬間、積み重ねてきたものを全て出し切った思いがこみ上げてきたと同時に、客席から大きな拍手を頂き、緊張から感動へ一気に感情が切り替わりました。皆、清々しくステージから退場しました。

審査の結果は銅賞となりましたが、私たちは着実に力をつけています。来年の全国大会は青森県で開催されます。次こそは一段高い評価を頂けるよう、新たな目標を持ってこれから 1 年頑張りたいと思います。今後ともあたたかく応援していただけると幸いです。



表彰式で銅賞の賞状と楯を受け取った富士団長・渡辺副団長

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団 (テノール) 黒崎和雄】